



ほんとうに、しあわせ。

avec le soutien d'HERMÈS

Les ENFANTS DU MARAIS

クリクリのいた夏

ジャック・ガンブラン ジャック・ワイユレ アンドレ・デュソリエ ミシェル・セロー イザベル・カレ エリック・カントナ マルレーヌ・パファイエ クリクリ/シュザンヌ・フロン
 ジャン・ベケル監督作品 原作/ジュール・モンフォレ「沼地の子供たち」カリマル刊 脚色・台詞/セバスチアン・ジャプリグ 撮影/ジャン・マリー・ドルーシュ
 衣装/シルヴィード・セゴンゼック 音楽/ヒエール・バシュレ 製作総指揮/エルベトリュフォー 製作/クリスチャン・フェシュネール
 UNE COPRODUCTION/FILMS CHRISTIAN FECHNER/UGC/FRANCE 2 CINEMA/UGC IMAGE/RHÔNE-ALPES CINEMA/K.J.B. PRODUCTION
 配給/シネマハリジャン 提供/TBS・日活株式会社・シネマハリジャン 協賛/HERMÈS <http://www.cinemaparisien.com>

クリクリ、
 あなたがまだ
 小さな女の子だったころのことを
 そっとおしえて。
 そう、
 マレの畔にいた
 あの素敵な人たちのことを...

夏草の薫り、水面をそよぐ風が頬をくすぐり、子どもたちのはしゃぐ声が森の木々にこだまする。
大人たちは蓄音機とワインとグラスをテーブルの上に置いて、近隣で捕まえたエスカルゴや蛙を肴にほおぼる。
SP盤がまわり始めると、ノイズとともに聞こえてくるのは、ルイ・アームストロング。
ゆったりと過ぎていく時間。今はもう失われてしまった、あの輝しくも懐かしい日々…。

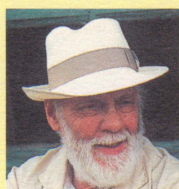
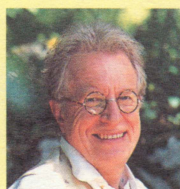
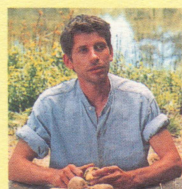


ほんとうに、しあわせ。
クリクリのいた夏

ジャック・ガンブラン ジャック・ヴィユレ アンドレ・デュソリエ ミシェル・セロー イザベル・カレ
エリック・カントナ 幼い日のクリクリ/マルティヌ・パフィエ クリクリ/シュザヌ・フロン
ジャン・ベッケル監督作品 原作//ジョルジュ・モンフォレ [沼地の子供たち]ガリマル刊
脚色/台詞//セバスチャン・ジャブリア 撮影//ジャン・マリー・ドルージュ
衣装//シルヴィード・セボンザック 音楽//ピエール・バジュレ
製作総指揮//エルヴェ・トリュフォー 製作//クリスチャン・フェシュネール
1999年フランス映画 35mm/カラー/12.35シネマスコープ/アナビジョン
ドルビーデジタル/デジタルDTSサウンド/5巻/3.558m/上映時間1時間55分
UNE COPRODUCTION//FILMS CHRISTIAN FECHNER/UGC/France 2 CINEMA
UGC IMAGE/RHÔNE-ALPES CINEMA/K.J.B.PRODUCTION
配給/シネマパリジャン 提供//TBS・シネマパリジャン <http://www.cinemaparisien.com>



1930年代のフランス。当時のマレ (marais=沼地の意) 周辺には、浮き世離れた自由人たちが暮らしていました。彼らは、近隣の豊かな自然の中で
自生している鈴蘭の花をブーケにしたり、山や湖、沼地へ繰り出しては蛙やエスカルゴを捕って、それらを町で売りさばいたりして自給自足の生活を送
っていたのです。その暮らしぶりは、今の私たちからは想像ができないほど優雅で、自由な時間を謳歌し、なによりも温かい人と人とのふれあいがあっ
たのです…20世紀がほどなく終わりを告げようとしている2000年、フランスで200万人を動員するビッグ・ヒットを記録したこの映画は、現代ではす
でに失われてしまった根源的な人間の豊かさについて再び考え直すための好機となりました。愛らしいクリクリの瞳をとおして語られる懐かしいフランス
の思い出が、鮮やかな映画の映像そのままに、フランス人たちの心に甦ったのです。彼らは一度ならず幾度となく映画館を訪れ、あの時代のしあわせ
を噛みしめました。笑いと涙の中に、繰り返し確かめたい至福の時が、この映画にはいっぱい、宝もののように詰まっているのです。



おはなし//それはすこし昔のことです。とあるマレの畔に、クリクリの一家が住んでいました。クリクリのお父さんのリトン (J.ヴィユレ) は、すこしばかり
おつむが弱いで、いつも周囲に迷惑ばかり掛けてしまいます。その尻拭いをするのは、決まって頼り甲斐のあるガリス (J.ガンブラン) の役割でした。
ガリスとリトンはコンビを組んで、毎日街へ出かけます。街では鈴蘭のブーケや蛙、エスカルゴを売ったりして、日々の糧を得るのです。そうして行く先々
で出会った素敵な街の住人たち。金持ちでいつもエレガントなアメデ (A.デュソリエ)、大きな洋館のお手伝いさんで、ガリスが秘かに好意を寄せる若
く美しい娘マリー (I.カレ)、とんまなリトンのせいで監獄へとぶち込まれる羽目になるボクシングのチャンピオン、ジョー (E.カントナ)、ふたりが庭の手
入れを頼まれている上品なマダム・メルシエ (G.カザデシュス)、かつてはマレの住人だったが、やがて事業を成功させて大金持ちになったベベ (M.セ
ロー)、そして何よりもクリクリが愛して止まないベベの孫ピエロ (R.ドレフュス)。そんな平穏な日々も束の間、またしてもリトンのヘマのせいで、大変
な事件がクリクリたちを襲います。はたして彼らはこの窮地を脱することができるのでしょうか。

夏休み しあわせいっぱい ロードショー

●特別前売鑑賞券 1,500円 絶賛発売中 (当日一般1,800円の処)

クリクリのいた夏 しあわせ小箱セット 限定100セット 劇場のみの特別販売2,000円

セット内容 1)映画解説本 2)ポストカード7枚 3)特別鑑賞券1枚

6月4日(日)開場時より発売いたします

●追加の予定はございません お早めにお買い求めください 売り切れの際は何卒ご容赦ください

- 上映スケジュール、混雑状況は劇場までお問い合わせください
- 本編開映後のご入場はご遠慮ください

梅田口7B1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.cinemabox.com/>